



ヒグマをガラス越しに間近で見ることができます



オープンを祝いテープカット

リニューアルオープン!

阿仁熊牧場

くまくま園

オープン記念イベント

3日間で

約7800人が来場

阿仁熊牧場「くまくま園」が、7月19日にリニューアルオープンしました。同日に行われた記念式典には、佐竹敬久秋田県知事や金田勝年衆議院議員のほか、県議会議員、市議会議員、関係機関の方々が出席し、テープカットなどを行ってオープンを祝いました。また、7月19日から21日までの3日間は、オープン記念イベント（上杉二三男・実行委員長）が行われ、3日間で約7800人が来場しました。

命の大切さを学ぶ施設に 津谷市長が主催者あいさつ

記念式典で津谷市長は、「一昨年、八幡平クマ牧場に残された熊の全頭受け入れを表明し、秋田県の多大なるご支援のもと、本日の完成に至った。新たな熊牧場は飼養や展示、研究施設としての利用、学習の場としての活用、さらには交流人口の拡大による森吉山周辺の観光振興にも大いにつながるものと期待している。今後とも県や地元住民、関係各所との連携を密にしながら、安全性には十分に配慮し、子どもから大人まで、より多くの方々が動物を通じて命の大切さを学ぶ施設づくりに励んでいきたい」などあいさつを述べました。

オープンを祝いテープカット

津谷市長のあいさつのもと、佐竹知事、大森山動物園の小松守園長が祝辞を述べ、記念式典の最後には、津谷市長、佐竹知事、金田衆議院議員、上杉実行委員長、阿仁合小学校1年の栗谷天花さん、湊穂香さん、大阿仁小学校2年の松橋新太くんによるテープカットが行われました。



このあと、オープンを待ちわびていた人たちが次々と入場し、施設の見学を楽しんでいました。

阿仁合小学校の児童3人が ヒグマにメッセージ

阿仁合小学校の福田風人くん（2年）、中島滉志くん（4年）、小松環斗くん（6年）の3人が、それぞれ阿仁熊牧場に移り住んだヒグマたちにメッセージを送りました。

福田くんは「くまくま園は、広くてエサももらえて良いですね。これからは僕たちと友達になってください」などと、中島くんは「これから夏休みが始まり、子どもから大人まで沢山の人が来るので楽しみにしてください」などと、最後に小松くんは「阿仁には、山や森の生き物たちと一緒に暮らしてきた人がたくさんいます。ここで安心して楽しく暮らしてください」などとヒグマたちに温かい言葉を掛けました。



▲(左から) 中島滉志くん、福田風人くん、小松環斗くん

くまモンが登場し、会場は 一番の盛り上がり

「くまモン」ショーには、くまモンとともに「バタもっち」や「じゅうべえ」も登場しました。特設ステージの周囲が、人で埋め尽くされるなか、「くまモン体操」を踊ったり、来場者と記念写真を撮ったりして、会場を盛り上げました。

「くまモン」ショーに続き、ピエロのマッキーさんが、ジャグリングパフォーマンスを披露しましたが、あいにくの雨に見舞われましたが、妙技を次々と繰り出し、大きな歓声と拍手が沸き起こりました。



オープンを待ちわびていた人たちが次々と入場

『くまくま園』の名付け親 伊東くんに記念品を贈呈

リニューアルオープン記念イベントでは、阿仁熊牧場の愛称『くまくま園』の名付け親である伊東清良くん（11歳）に感謝状と記念品が贈られました。上杉実行委員長から感謝状と記念品を受け取った伊東くんは、「どうもありがとうございます」と元気にお礼を述べました。



初めて出会い
握手を交わす
**くまモンと
バタもっち**

▲あれ!手がどんどん伸びていく

◀伸びた手が元どおりに!
驚く『くまモン』と『ニャジロウ』